

令和 7 年度

益田県土整備事務所

主要事業の紹介

令和 7 年 5 月

「主要事業の紹介」は、現時点の予定であり、今後の進捗等の状況により、変更となる可能性があります。

【目 次】

益田県土整備事務所（本所）

（１）維持管理部の事業

①橋梁耐震事業		P. 1
②落石対策事業		P. 2
③舗装修繕事業		P. 3
④老朽化対策事業		P. 4

（２）農林工務部の事業

①ほ場整備事業		P. 5
②農道整備事業		P. 6
③ため池整備事業		P. 7
④流域保全総合治山事業		P. 8
⑤防災林造成事業		P. 9
⑥林道整備事業		P. 10
⑦林業専用道開設事業		P. 11

（３）土木工務部の事業

①道路事業		P. 12
②河川事業		P. 13
③砂防事業		P. 14
④港湾事業		P. 15
⑤海岸事業		P. 16
⑥街路・道路事業		P. 18
⑦街路事業		P. 19

（４）その他の取り組み

建設担い手確保		P. 20
問い合わせ先		P. 21

① 橋梁耐震事業

R6補正予算額： 74,000千円
R7当初予算額： 140,000千円

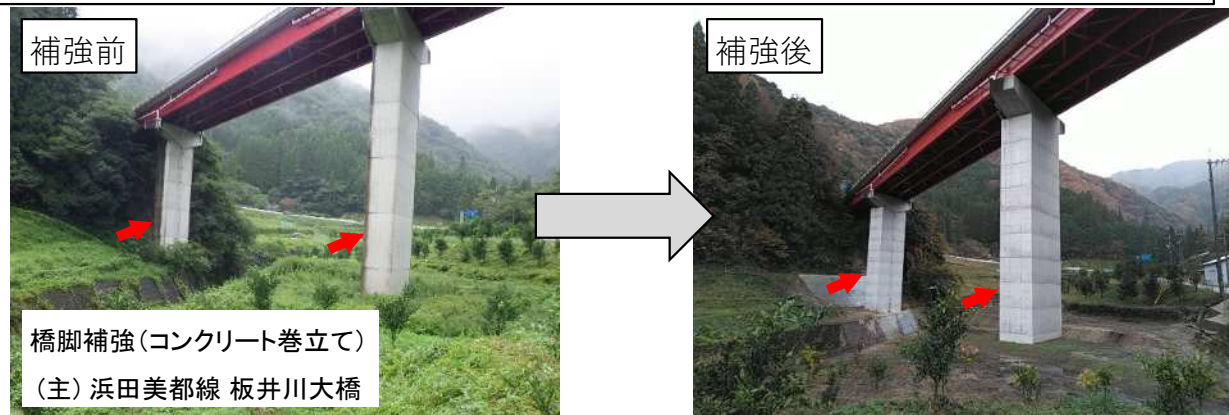
【事業概要】

緊急輸送道路※上にある「橋長15m以上かつ複数径間の橋梁」を対象として、令和11年度までに耐震性の低い橋梁の耐震補強を進めています。（※緊急輸送道路とは、災害発生直後から隣県や防災拠点間の緊急輸送を円滑かつ確実に実施するために必要な道路として、県が指定している道路）

【事業箇所】

- ・ 国道191号 18橋
- ・ (主) 益田阿武線 4橋
- ・ (主) 浜田美都線 3橋
- ・ (一) 波佐匹見線 1橋
- ・ (一) 益田吉田線 1橋

【施工事例】



【事業計画】

- ・ 27橋のうち
完了20橋、未完了7橋

【R7年度事業内容】

- ・ 耐震補強工事 国道191号 観音橋（笹倉）
など

【期待される整備効果】

- ・ 緊急輸送道路上の橋梁について耐震補強を行うことで、大規模地震発生時における円滑な救急・救援活動や緊急物資の輸送にとって不可欠な道路の通行を確保します。

地震時に橋脚が壊れないようにコンクリート等で補強する橋脚補強や、橋が落ちないようにするための落橋防止対策をおこなっています。



② 落石対策事業

R6補正予算額： 66,000千円
R7当初予算額： 24,000千円

【事業概要】

- ・「落石に係る道路防災計画」（令和2年12月改訂）にもとづき、「第一段階」として、落石頻度の高い30cm未満の石を対象とした対策を、令和2年度から概ね15年間で実施します。
- ・この対策は、第1次緊急輸送道路である国道191号を、広域的な連携を確保するために優先して実施しています。
- ・他の危険箇所では毎年定期点検を行い、危険度を評価をしながら、必要に応じ、緊急的な落石対策も実施します。

【事業箇所】

- ・国道191号
島根と広島を結ぶ緊急輸送道路

【事業計画】

- ・33箇所の対策必要箇所のうち
完了 24箇所
事業中 9箇所

【R7年度事業内容】

- ・国道191号(道川～笹倉) 2箇所
杭式落石防護柵工
ポケット式落石防護網工 など

【施工事例】

(着手前)



(完成後)



落石防護網設置
国道191号 美都町丸茂地内

【期待される整備効果】

- ・通行する車両や歩行者に対して、落石からの被害を未然に防ぎます。

③ 舗装修繕事業

R6補正予算額： ー 千円

R7当初予算額：157,000千円

【事業概要】

安全・円滑な通行環境の整備を図るため、交通量に応じた管理基準を定めて、舗装路面の段差やひび割れを順次修繕しています。

【R7年度事業内容】

5路線8箇所予定

- ・国道191号（仙道、山本、道川①、道川②）
- ・（主）浜田美都線（板井川）
- ・（主）益田澄川線（有明）
- ・（主）吉賀匹見線（匹見）
- ・（一）須川谷日原線（長沢）

【施工事例】

国道191号

久々茂地内



（主）益田阿武線

市原地内



（一）益田種三隅線

遠田地内



④ 老朽化対策事業

R6補正予算額： 9,599千円

R7当初予算額：305,750千円

【事業概要】

- ・道路の橋梁、トンネルなどの重要な構造物を、5年に1回点検し、健全度の判定を行っています。
- ・健全度の結果から、早急に修繕が必要な状態と診断された施設について、対策工事を実施します。

【事業箇所】

- ・国道、県道の
橋梁、トンネルなど

【事業計画】

- ・橋梁 263橋
- ・トンネル 25本 など

【R7年度事業内容】

- ・橋梁塗装工事 1橋
- ・橋梁支承取替工事 1橋
など

【期待される修繕効果】

- ・建設されてから長時間経ち老朽化した施設を、点検によって把握し、計画的に修繕します。
- ・計画的に点検し修繕工事を実施することで、施設の寿命を延ばします。

【施工事例】

（着手前）



（完成後）



川下橋 下種町地内
全面塗装塗替

① ほ場整備事業 中山・長福地区

全体事業費 : 1,519,400千円
R6補正予算額 : 30,000千円
R7当初予算額 : 40,000千円

【事業概要】

中山・長福地区は山口県と接する津和野町の北西部に位置し、水稻を中心とした農業が盛んな中山間地域です。昭和57年度～平成7年度にかけて第1次ほ場整備を行っていますが、現代農業には区画が狭く、また用排水路などの農業用施設も老朽化が目立ってきたため、農作業の効率化や生産性向上、さらには持続的な地域農業を目指してほ場整備を行っています。



【事業箇所】

鹿足郡津和野町中山・長福地内

【事業計画】

- ・事業期間：H29年度～
- ・区画整理工 A=55.2ha
- ・用排水路工 A=15.7ha
- ・暗渠排水工 A=33.1ha

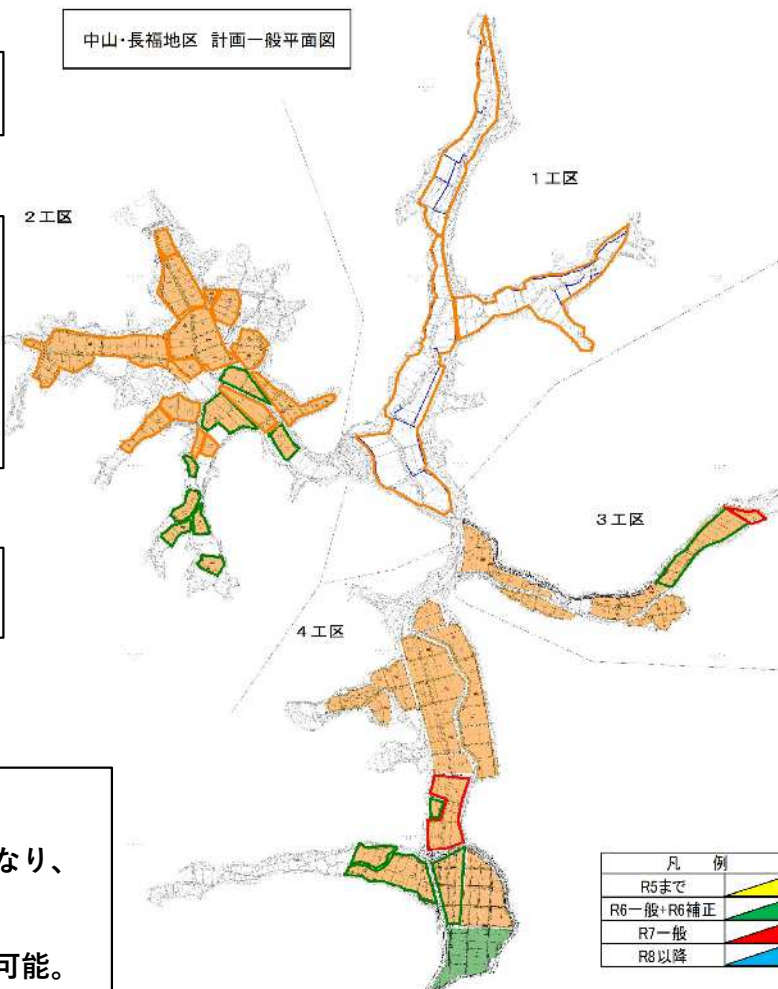
【R7年度事業内容】

- ・暗渠排水工 A=5.0ha

【期待される整備効果】

- ・水田・畑の大区画化による農作業の効率化。
- ・排水対策を行うことで水田の畑地化が可能となり、収益性の高い作物の栽培が実現。
- ・担い手に集積することで持続的な地域農業が可能。

中山・長福地区 計画一般平面図



着手前（令和5年4月）



竣工後（令和6年2月）



② 農道整備事業 西石見地区

全体事業費 : 1,004,900千円
R6補正予算額 : 90,000千円
R7当初予算額 : 90,000千円

【事業概要】

昭和52年度～平成12年度に整備された西石見広域農道は、国営農地開発地など石西地域最大営農団地の農作物等の広域的な流通経路として活用されてきた一方、全区間が益田市地域防災計画の避難経路に指定され、また、一部区間が島根県緊急輸送道路ネットワーク計画において第二次緊急輸送道路にも指定されるなど、災害発生時の重要な道路としても位置付けられています。しかし、本農道の一部箇所において、法面の老朽化による落石や吹付モルタルの剥離が発生し、通行上の危険が生じているためこれら法面の補修を行います。さらに平成8年に架設された「ほたる大橋」及び平成9年に架設された「第二ほたる大橋」が現行の耐震基準を満たしていないため、大規模地震に備えて、耐震補強を行うものです。



【事業箇所】

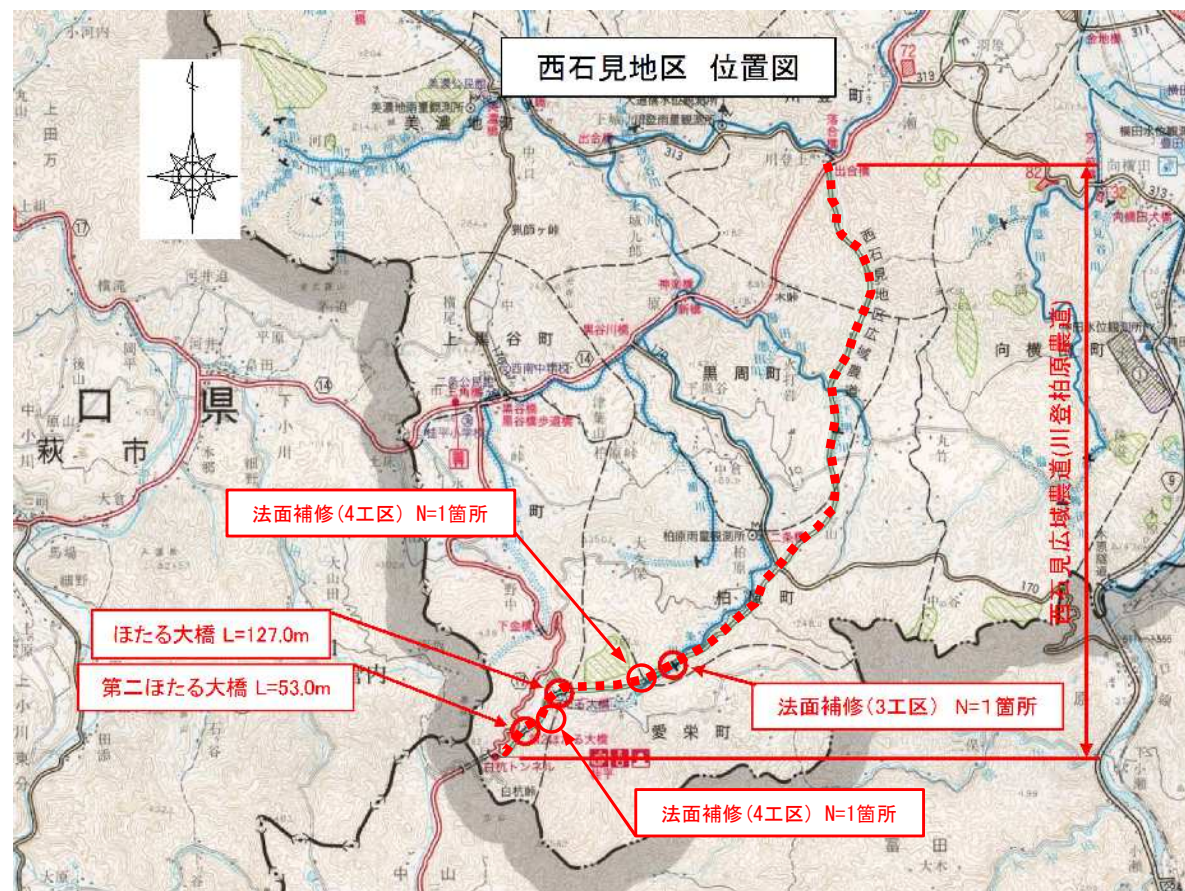
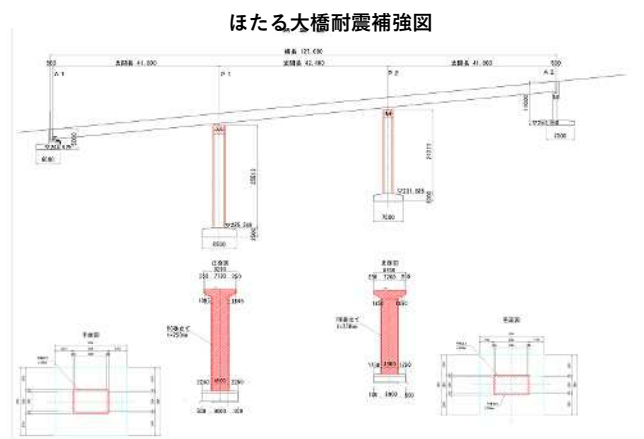
益田市桂平町地内ほか

【事業計画】

- ・ R2年度～
- ・ 法面補修工 4箇所、橋梁耐震補強 2箇所

【R7年度事業内容】

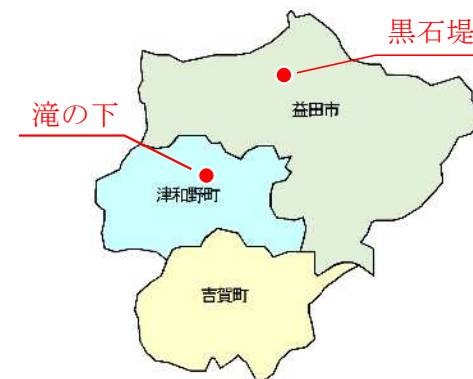
- ・ 法面对策工 1式



③ ため池整備事業 黒石堤／滝の下

【事業概要】

「黒石堤」、「滝の下」の両ため池は、地域の水田農業に必要な用水を確保するため、昭和初期頃に築造されました。いずれも長い年月を経過し、堤体並びに取水施設など老朽化が進行しており、あわせて、耐震性能も不足していることから、近年頻発する局部豪雨ならびに地震時において、下流域に広がる農地や人家を保全するため、本ため池の改修を行うものです。



【事業箇所】

- ・黒石堤：益田市遠田町地内
- ・滝の下：鹿足郡津和野町池村地内

【事業計画】

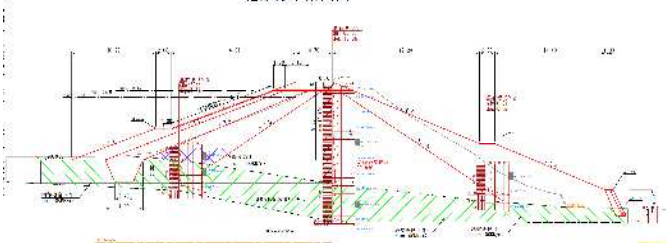
黒石堤／滝の下

- ・R4年度～
- ・対策工：堤体改修 一式
- ：洪水吐工 一式
- ：取水施設 一式

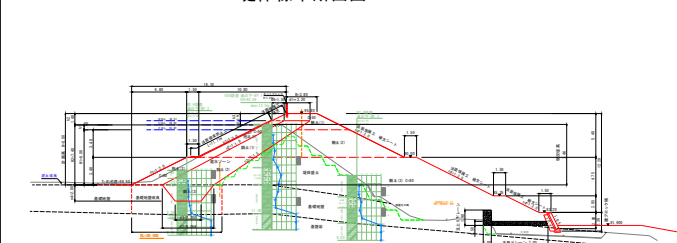
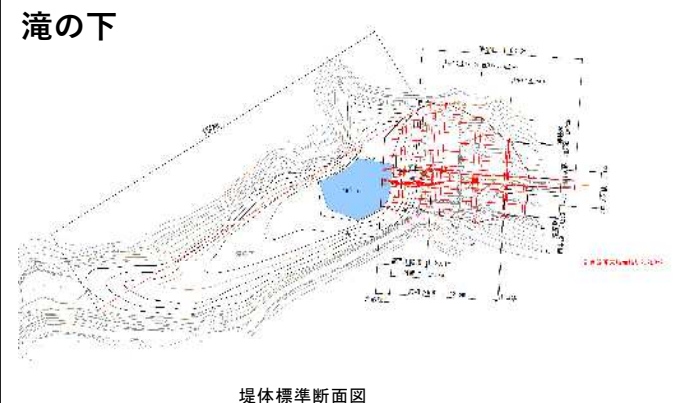
【R7年度事業内容】

- ・黒石堤
堤体工 一式・工事用道路 一式
- ・滝の下
堤体工 一式・工事用道路 一式

黒石堤



滝の下



④ 流域保全総合治山事業 福川地区

【事業概要】

- ・保安林の公益的機能（水源かん養・山地災害防止）を維持するために治山事業を推進します。
- ・谷止工を施工することにより荒廃した溪流の安定を図ります。
- ・本数調整伐により森林の健全な成長を図り、水源かん養機能及び山地災害防止機能の向上を図ります。

【事業箇所】

鹿足郡吉賀町福川地内

【事業計画】

- ・ R5年度～R10年度
- ・ 谷止工 N=5基
- ・ 本数調整伐工 A=2.00ha

【R7年度事業内容】

- ・ 谷止工 N=2基



（承認番号 平30中複、第38号）

【完成イメージ】



【期待される整備効果】

- ・ 谷止工により、人家、道路、その他公共施設を山地災害から保全します。
- ・ 谷止工の設置及び本数調整伐の実施により、健全な森林が形成され洪水緩和や水資源貯留の水源かん養機能が向上します。

⑤ 防災林造成事業 益田地区

【事業概要】

- ・保安林の公益的機能（飛砂防備）を維持するために治山事業を推進します。
- ・マツクイムシ被害を受けた海岸林を復旧します。

【事業箇所】

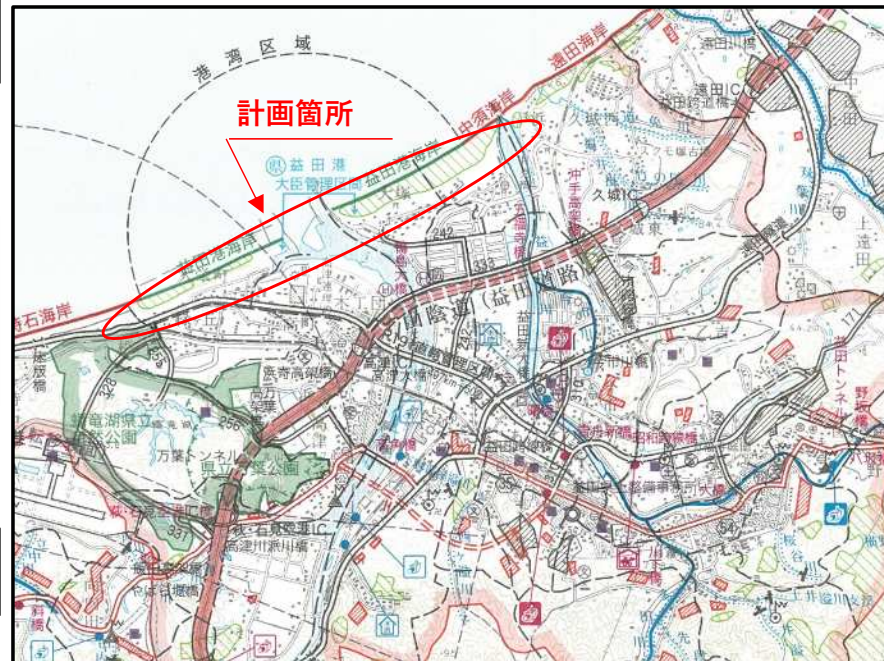
益田市高津町 外 地内

【事業計画】

- ・ R6年度～R10年度
- ・ 防風工
- ・ 植栽工

【R7年度事業内容】

- ・ 防風工 L=200.0m



(承認番号 平30中複、第38号)

【マツクイムシ被害状況】



【期待される整備効果】

- ・ 海からの潮風、寒風及びそれらに伴う飛砂などの自然現象による建物の倒壊・老朽化、堆砂、塩害などを未然に防ぎます。

全体事業費 : 870,000千円
R6補正予算額 : 62,860千円
R7当初予算額 : 10,000千円

⑥ 林道整備事業 春日山線

【事業概要】

- ・ 林道事業では原木生産の低コスト化のため、森林資源が成熟した地域の道路網整備を進めています。
- ・ 循環型林業を実現するための広域基幹道として開設を進めます。

【事業箇所】

益田市匹見町落合地内

【事業計画】

- ・ H26年度～R14年度
- ・ 延長：3,133m
- ・ 全幅員5.0m、車道幅員4.0m

【R7年度事業内容】

- ・ 林道開設工事
- ・ 環境調査

【期待される整備効果】

- ・ 10年間で10.5ha・4,200m³の主伐、49.7ha・4,973m³の間伐が実施され、原木搬出が促進されています。
- ・ 接続する匹見美都線と併せ、地域の基幹的な林道として地域の生活環境の改善に役立ちます。



(承認番号 平28中複、第23号)



⑦ 林業専用道開設事業 島直地奥山線

【事業概要】

- ・ 林業専用道開設事業では原木生産の低コスト化のため、森林資源が特に成熟した地域に林業専用道の集中整備を進めています。
- ・ 林業生産活動に特化した道として、循環型林業を実現するために開設を進めます。

【事業箇所】

鹿足郡津和野町左鐙地内

【事業計画】

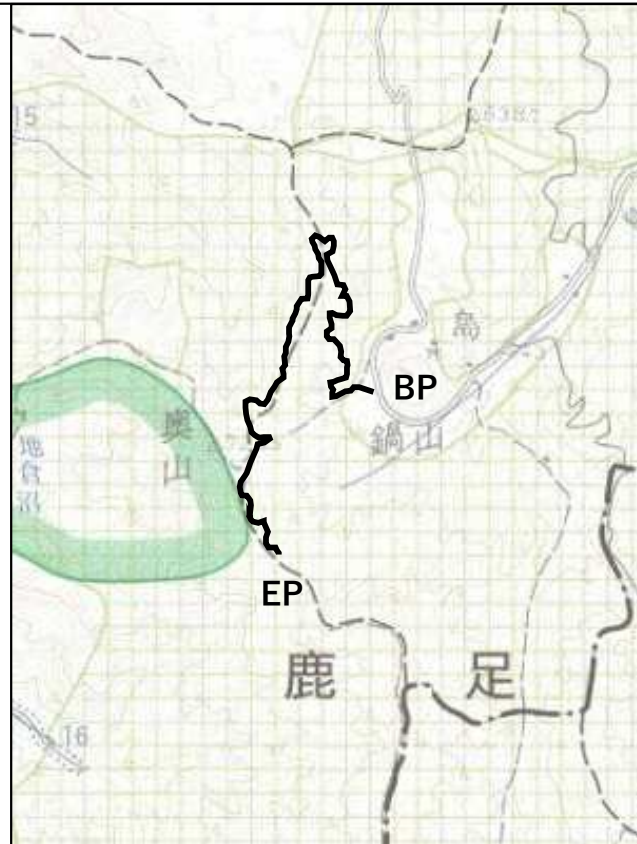
- ・ R元年度～R10年度
- ・ 延長：3,100m
- ・ 全幅員3.6m、車道幅員3.0m

【R7年度事業内容】

- ・ 林業専用道開設工事

【期待される整備効果】

- ・ 森林作業道を組み合わせた効率的な路網配置と林業機械の積極的な導入により、10年間で38.06ha・12,684m³の主伐、40.43ha・6,419m³の間伐による原木搬出が期待されます。



(承認番号 平30中複、第38号)

① 道路事業 国道488号 澄川工区

全体事業費 : 5,500,000千円
R6補正予算額 : 40,000千円
R7当初予算額 : 380,000千円

【事業概要】

- ・ 国道488号は、益田市中心部と匹見地区を結ぶ主要な幹線道路であり、合併後の益田市を90分で周回可能とする環状道路「グリーンライン90」の一部を形成しています。
- ・ 事業区間の現道は、匹見川と急峻な山の間に位置しており、幅員が狭く、車両のすれ違いが困難なため、トンネル計画（L=0.5km）を含む道路改良を実施しています。

【事業箇所】

益田市匹見町澄川地内

【事業計画】

- ・ H29年度～R10年代
- ・ 延長：2.0km
- ・ 2車線改良

【R7年度事業内容】

- ・ 改良工事
- ・ 舗装工事



【期待される整備効果】

- ・ 安全で円滑な道路交通が確保され、定住促進、企業誘致、交流人口拡大などによる地域活性化のほか、合併後の新市の一体感の醸成に寄与することが期待されます。
- ・ 災害時の物資輸送路／避難路の確保、除雪の効率化により、第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られます。

(承認番号 平28中複、第23号)

② 河川事業 白上川

全体事業費 : 1,200,000千円
R6補正予算額 : 36,000千円
R7当初予算額 : 30,000千円

【事業概要】

- ・一級河川高津川水系の白上川は、大道橋から二条川合流点までの区間が未改修であったため、近年では、平成11年6月、平成25年8月の豪雨により浸水被害が発生しました。
- ・沿川の家屋などの浸水被害を防ぐため、平成22年度より河道改修を実施しています。

【事業箇所】

益田市川登町～美濃地町地内

【事業計画】

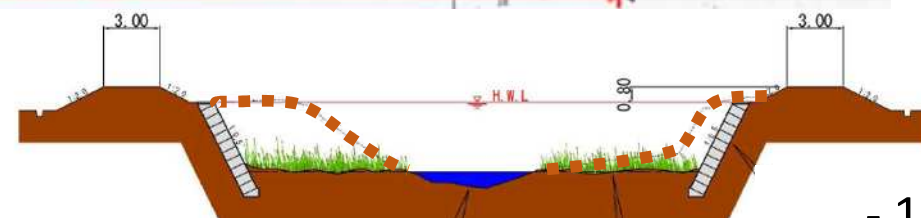
- ・H22年度～
- ・延長：1,350m
- ・河道改修
(堰撤去、護岸整備、築堤)

【R7年度事業内容】

- ・左岸側橋台工
- ・護岸工

【期待される整備効果】

- ・概ね10年に1回程度の確率で発生する洪水を安全に流下させることにより、家屋などの浸水被害を防止します。



③ 砂防事業 洗川

全体事業費 : 350,000千円
R6補正予算額 : -千円
R7当初予算額 : 80,000千円

【事業概要】

- ・ 洗川は、島根県益田市波田町地内に位置し、保全対象として人家12戸、真砂公民館や真砂診療所等を抱える土石流危険渓流です。
- ・ 本溪流の流域面積は0.348km²で溪流長は1.6km程度と比較的広域ですが、現地状況は流域の荒廃が進行しており、今後の豪雨により土石流が発生する恐れがあることから、令和2年度に事業着手しました。
- ・ 本事業では、ICT施工も見据えたBIM/CIMへの取り組みも行っており、施工及び維持管理の効率化を図り、また、レーザー測量により取得したデータを活用することで、一般の方でも工事完了時のイメージがしやすいデータを作成しています。

【事業箇所】

益田市波田町地内

【事業計画】

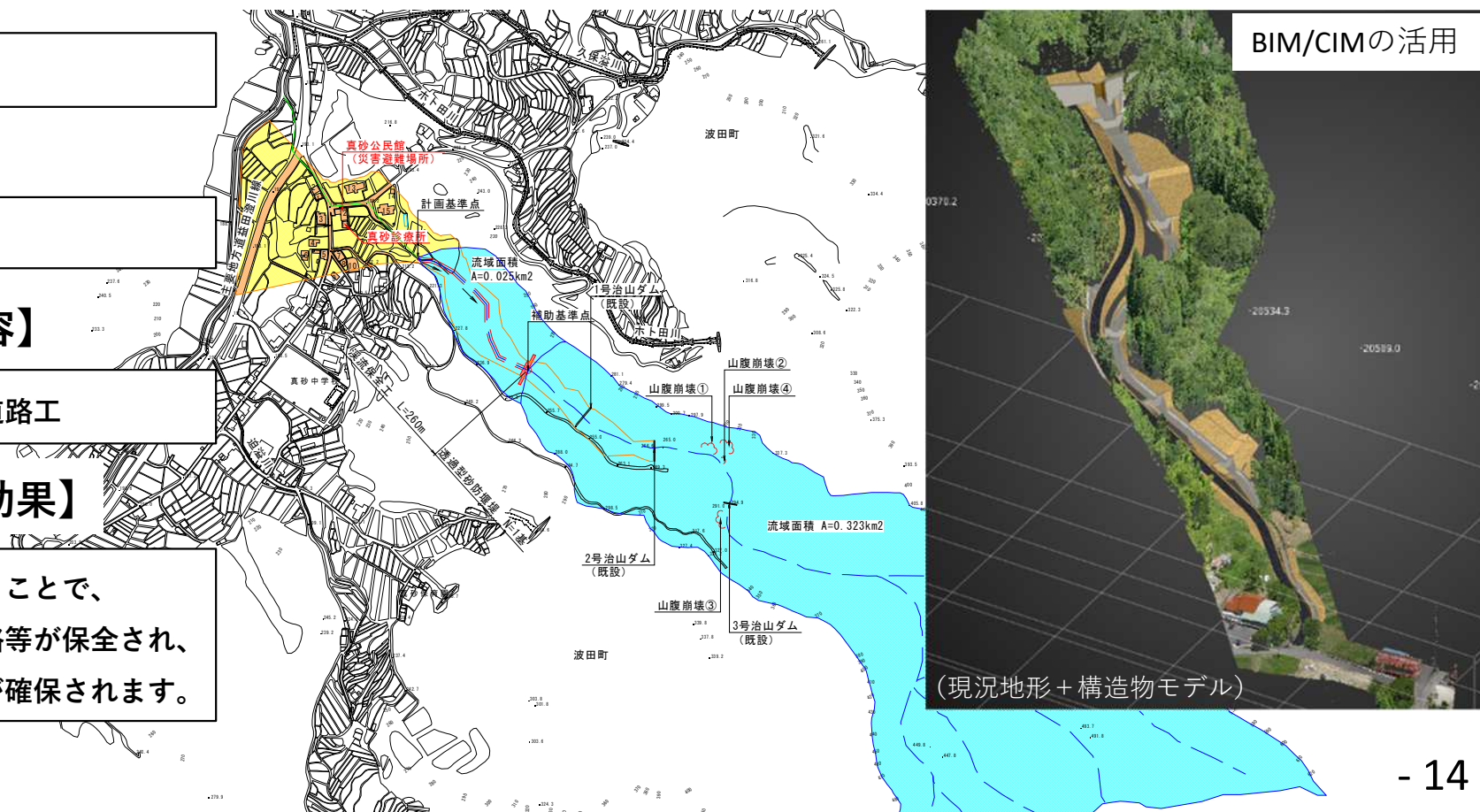
- ・ R2年度～

【R7年度事業内容】

- ・ 用地買収、管理用道路工

【期待される整備効果】

- ・ 砂防施設を整備することで、避難所、人家、道路等が保全され、地域の安全・安心が確保されます。



④ 港湾事業 益田港

【事業概要】

益田港は、島根県の最西に位置し、高津川の河口を利用した古くからの天然の良港であり、現在では、主に沿岸漁業の基地として利用されています。現在、不足している係留施設の拡充および風浪・出水による航路埋塞不安の解消のため、これに対応できる泊地・航路の整備を行っています。

【事業箇所】

益田市高津町地内

【事業計画】

・ H11年度～

【R7年度事業内容】

- ・ 防波堤（北）
ケーソン製作・据付工
消波ブロック製作・据付工
上部工

【期待される整備効果】

- ・ 高津川河口部を通ることなく外海へ出ることが可能となり、河口埋塞の影響を受けにくくなるため、安定航行が期待されます。
- ・ 背後の泊地・物揚場の整備を行うことで不足する係船数を確保することができます。



(R5年10月)



(承認番号 平28中複、第23号)

⑤ 海岸事業 小浜海岸

【事業概要】

- ・小浜海岸沿岸の民家等では毎年、小石混じりの波しぶきが飛散する被害を受けており、今後海岸浸食が進んだ場合、背後地の道路や民家等建物への影響が生じる恐れがあります。
- そこで、越波被害を防止する対策として、沿岸への防波フェンスの設置(令和2年度完成)および過去に施工した人工リーフの嵩上げを行うことで防災機能の向上を図る取り組みを行っており、令和4年度に部分嵩上げが完成しました。(第1段階施工)
- ・今後については、実施工事の効果を検証しつつ、残工事の着手について検討していく予定としています。

【事業箇所】

益田市小浜町地先

【事業計画】

- ・ R2年度～R4年度
(第1段階施工)
※その後は要検討

【R7年度事業内容】

- ・ 整備効果検証（深浅測量等）

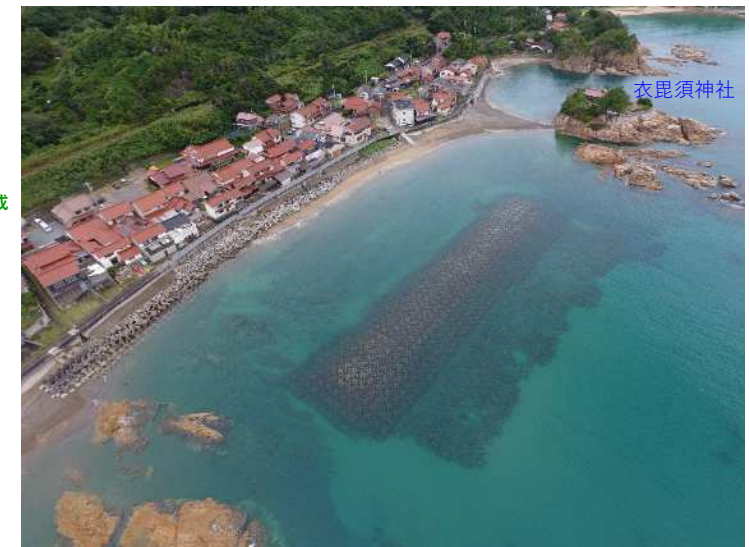


[越波状況]



(H30年2月)

[第1段階施工完成状況]



(R5年9月)

⑤ 海岸事業 持石海岸

【事業概要】

- ・県内の海岸保全施設の半数以上は築造後40年以上を経過しており、コンクリートの劣化や浸食による変状が発生し、十分な効用を発揮できない状況となっています。
- ・当管内の持石海岸も冬期風浪や度重なる台風の襲来により浸食を受け、海岸保全施設が沈下するなど機能低下を引き起こしており、早期の対策が求められています。
- ・そこでR4年度に創設された個別補助事業『海岸メンテナンス事業』を活用し、海岸保全施設の機能回復を図るため修繕を行っています。

【事業箇所】

益田市高津町地先

【事業計画】

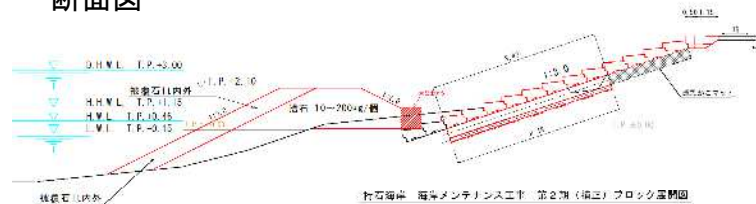
・R5年度～R9年度

【R7年度事業内容】

・緩傾斜護岸修繕工 L=40m



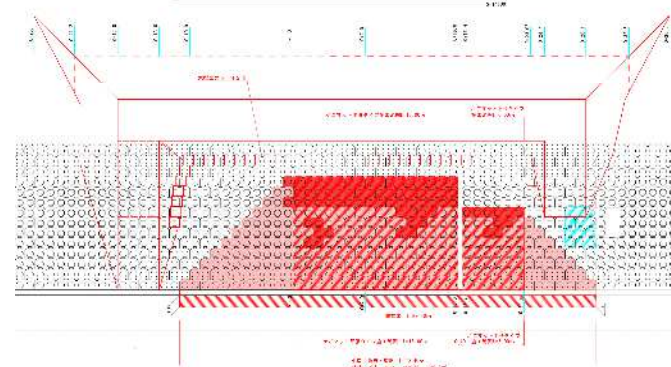
断面図



損傷状況
(R5年2月)



展開図



⑥ 街路・道路事業 都市計画道路元町人麿線・須子中線

全体事業費 : 7,600,000千円
R6補正予算額 : 330,000千円
R7当初予算額 : 144,000千円

【事業概要】

- ・都市計画道路元町人麿線は、益田駅前地区と高津地区を結ぶ道路であり、地域間交流や物流の円滑化、渋滞緩和の効果が期待されるほか、災害時には第2次緊急輸送道路や避難路としての機能を有し、防災上も重要な役割を果たす路線です。
- ・現在は、須子町から高津二丁目までの元町人麿線440m、須子中線280mについて事業を進めています。

【事業箇所】

益田市須子町～高津二丁目地内

【事業計画】

- ・H25年度～R7年度
- ・延長：720m
- ・幅員10.5m
(車道7.0m、歩道3.5m)

【R7年度事業内容】

- ・道路改良（盛土、側溝工等）
- ・舗装、区画線、標識・照明設置

【期待される整備効果】

- ・新たな路線を整備することで、現道(高角橋)で課題となっている大型車とのすれ違い確保、渋滞緩和による交通の円滑化と通学路の安全確保が図られます。
- ・歩道を整備することにより、歩行者自転車通行者の安全で快適な通行空間を確保します。
- ・災害時における避難路を確保することにより、防災機能の向上を図ることができます。



⑦街路事業 都市計画道路元町人麿線（2工区）

全体事業費 : 3,000,000千円
R6補正予算額 : 40,000千円
R7当初予算額 : 40,000千円

【事業概要】

- ・都市計画道路元町人麿線は、益田駅前地区と高津地区を結ぶ道路であり、地域間交流や物流の円滑化、渋滞緩和の効果が期待されるほか、災害時には第2次緊急輸送道路や避難路としての機能を有し、防災上も重要な役割を果たす路線です。
- ・令和6年度補正予算を活用し、元町から栄町までの約500m（2工区）について事業に着手しました。

【事業箇所】

益田市元町～栄町地内

【事業計画】

- ・R7年度～
- ・延長：500m
- ・幅員14.0m
（車道9.0m、歩道2.5m）

【R7年度事業内容】

- ・測量、地質調査
- ・道路詳細設計

【期待される整備効果】

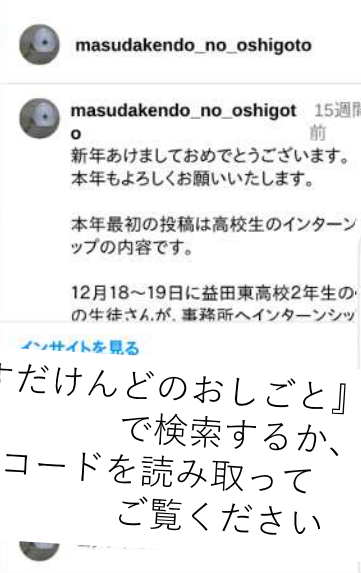
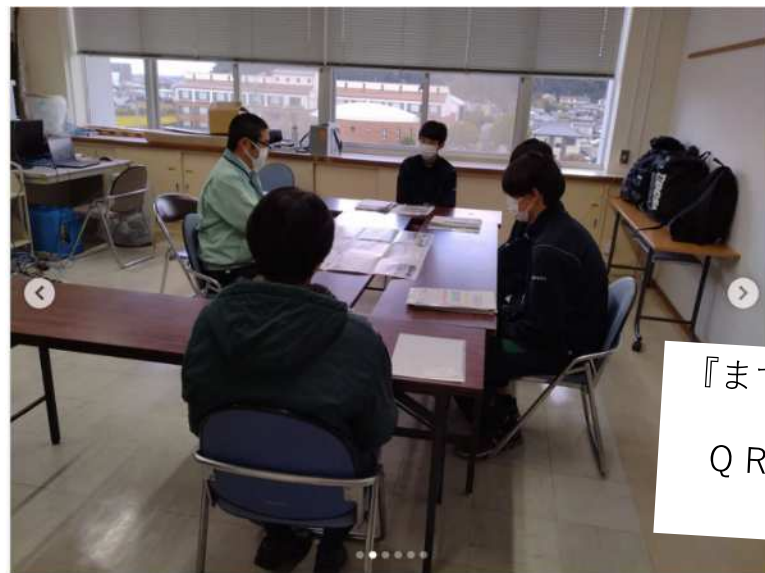
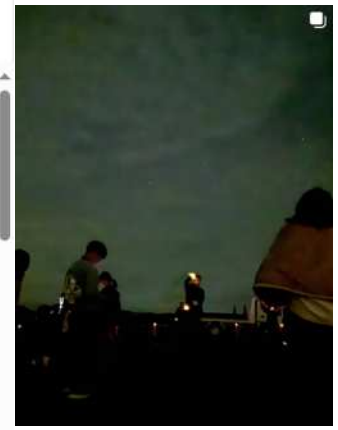
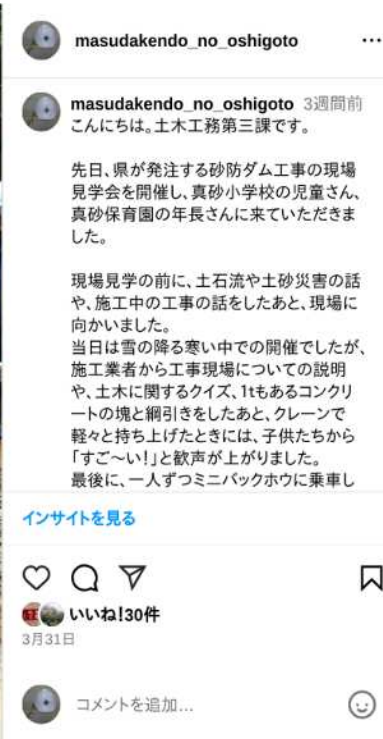
- ・益田中学校へのアクセスルートが形成されることから歩行者の安全性が確保されます。
- ・災害時における避難路を確保することにより、防災機能の向上を図ることができます。



その他の取り組み（建設担い手確保）

益田県土整備事務所では

Instagramで仕事や職員の様子を紹介しています



『ますだけんどのおしごと』
で検索するか、
QRコードを読み取って
ご覧ください



MASUDAKENDO_NO_OSHIGOTO

連 絡 先

担 当 課		担当業務	電話番号
維持管理部	維持第 1 課	道路維持、橋梁耐震 他	0856 - 31 - 9620
	維持第 2 課	落石対策、長寿命化 他	0856 - 31 - 9628
	管理第 2 課	河川維持、ダム管理 他	0856 - 31 - 9625
農林工務部	農村整備課	ほ場整備 他	0856 - 31 - 9600
	農道・防災課	農道整備、ため池整備、地すべり 他	0856 - 31 - 9602
	治山・林道課	復旧治山、林道整備 他	0856 - 31 - 9595
土木工務部	土木工務 1 課	道路、河川 他	0856 - 31 - 9648
	土木工務 2 課	街路・道路、公園、空港 他	0856 - 31 - 9656
	土木工務 3 課	砂防、港湾、海岸 他	0856 - 31 - 9668
企画調整スタッフ		その他のお問い合わせ	0856 - 31 - 9652

工事現場や管理施設の見学、防災等に関する出前講座も承ります。

島根県では、
建設産業の担い手の確保や
育成に取り組んでいます

「ミライビルダーズ」は、
『未来を創る』と『将来の
建設業にかかわる人』とい
う意味をかけています。



〒698-0007

島根県益田市昭和町13-1（益田合同庁舎 4 階）

☎ 0 8 5 6 - 3 1 - 9 6 3 3 （代表）

FAX 0 8 5 6 - 3 1 - 9 7 0 1

✉ masuda-kendo@pref.shimane.lg.jp

益田県土整備事務所
公式ホームページ



島根県：益田県土整備事務所（トップ / 益田県土整備事務所）

www.pref.shimane.lg.jp

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kensetsu/taisaku/miryoku/>